



株式会社
ビードットアイジャパン
伊藤 直樹 様

「他の翻訳支援ツールは複雑で、翻訳者に覚えてもらうのがむずかしいです。

メモソースは翻訳者は無料で使えるし、使い方もシンプル。これなら翻訳プロジェクトの効率化が可能だと思いました。」

パートナープロフィール

Business Interactive Japan Inc.

株式会社ビードットアイジャパン様は2000年に設立されて以降、マニュアル翻訳をはじめ、幅広い分野の翻訳を手がけられています。現在、年間2000件を超える翻訳プロジェクトを進められていますが、その中には、1冊のマニュアルを30言語に翻訳するプロジェクトもあります。

ですが以前は、大量・短納期の案件に対応できずに、失注が続いたことがあったそうです。そんなときに、Memsourceを採用していただきました。**お選びいただいた一番の理由は、Memsourceのシンプルな操作性にありました。**

その後、複数翻訳者で同時に進行する大型案件も、効率的に進めて頂くことができました。以下、ビードットアイジャパン伊藤直樹様のインタビュー記事です。

メモソース日本窓口：〒171-0022 東京都豊島区南池袋2丁目49-7 池袋パークビル1階

TEL:03-4360-5563 Email:japan@memsource.com

URL: www.memsource.com/ja 日本語ブログ・マニュアル: blog.memsource.com/ja/

■ メムソースをどういったお仕事にご利用いただいていますか？

大きなプロジェクトから、小さなものまで。ジャンルやボリュームを問わずに利用していますね。ファイル形式や言語も特に特定していません。ワード・エクセル・パワポ、インデザインにも使っています。日本語・英語以外にも、中国語、アジア言語にも使っています。フランス語訳の案件などでも使用したことがあります。

■ 導入いただいたきっかけというのは、何だったのでしょうか。

大量・短納期に対応できずに失注が続いたことがきっかけです。導入後、お客様を直接訪問し、Memsourceのデモをしました。大量案件でもスムーズに作業を展開でき、複数翻訳者による同時進行の作業でも、品質を保つことができることを納得していただきました。

■ 翻訳者の方は、操作にはすぐに慣れていただけているのでしょうか？

ほとんどの方はすぐに覚えていただけます。トレーニングがあまり必要ないツールです。使いづらいというような声は聞いたことはありません。ただ、年配の翻訳者さんで、PCがあまり得意でない方もいます。そのときは、ワードバイリンガルファイル^(※)での翻訳をお願いします。こうしておくと、たとえば翻訳メモリを先に流し込んでおき、参考訳としてもらえます。また、翻訳後に翻訳メモリにすることができます。

■ メムソースを使うのに不向きな原稿などありますか？

不要な改行が多い原稿は前処理が必要になります。そういった場合は、不要な改行の前処理をしてから、メムソースに読み込むこともあります。この手間を考えても、メムソースを使用したほうが、効率が良いです。

■ 品質の部分でも効果はありますか？

品質管理チェック機能を使うことにより、ケアレスミスはすぐに発見できますし、用語の不統一などもすぐに直すことができますね。

■ プロジェクトによってはスマートフォンを使ってプロジェクトを管理されることもあるかと聞きましたが。

海外のお客様からのご依頼で、帰宅後に急ぎの案件がくることもあります。わざわざパソコンを開かず、携帯でプロジェクトを更新して、翻訳者にメムソース上からアサインします。翻訳者も海外在住だったりすると、時差のおかげで、夜中に翻訳を進めてもらえます。また、作業の進行状況もリアルタイムで見ることがができますので、ちゃんと進めているのかが分かり、安心できます。

(※) メムソースはMS Word形式でバイリンガルファイルを作成することが可能です。